

## 令和4年度第1回相生市学校教育審議会概要

日 時：令和4年6月29日（水）19時00分から21時00分

会 場：扶桑電通なぎさホール2階会議室1・2

出席者：安藤会長・山田委員・松下委員・濱田委員・石野委員・長谷川委員・  
石山委員・高根委員・松原委員・坂本委員・森上委員

事務局：浅井教育長・宮崎次長・山本次長・佐原管理課長・  
木本学校教育課長・富田管理課副主幹

事務局 定刻となりましたので、ただ今から、令和4年度第1回の相生市学校教育審議会を開催いたします。私は、本日司会を担当させていただき教育委員会管理課の佐原でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、次第に入る前に、送付させていただいております本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の次第、委員名簿、相生市学校教育審議会資料、相生市学校教育審議会参考資料になります。

資料の不足は、ございませんでしょうか。

それでは、次第に沿って進行させていただきます。

次第の2、委嘱状交付に移ります。本審議会は、地域代表といたしまして幼小中のPTA代表に参画をいただいております。PTAの役員交代がありましたので、今年度、改めまして3名の方に委嘱させていただきます。本来であれば、委嘱状を手渡して交付すべきところですが、新型コロナウイルス感染症対策を考慮しまして、机上に交付させていただいております。ご了承いただくとともに、ご確認をお願いします。

続きまして、次第の3、浅井教育長より、ご挨拶をさせていただきます。

教育長よろしく申し上げます。

教育長 《挨拶》

事務局 続きまして、次第の4、委員紹介に移ります。新たに着任されました委員の方もいらっしゃいますので、事務局より紹介をさせていただきます。

お名前をお呼びいたしますので、その場でご起立をお願いいたします。事前にお送りしております審議会委員名簿の順に申し上げます。

(委員及び事務局紹介)

委員及び事務局の紹介は以上です。

それでは、以降の進行につきましては、安藤会長よろしくお願いたします。

会長 皆様よろしくお願いたします。それでは、次第に従いまして進めさせていただきたいと思ひます。それでは、事務局より、本日の委員の出席状況を報告お願いたします。

事務局 本日の審議会の委員の出席状況につきまして、報告いたします。本日の出席委員は12人中、11人の委員に出席していただいております。相生市学校教育審議会条例第6条第2項の規定により、過半数の出席がありますので、本会議が成立していることをご報告いたします。  
なお、本審議会においては議事録を作成いたします。この議事録は発言者名をふせて作成し、会長と委員1名の署名をいただきます。議事録署名委員については、会長より指名いただきますので、よろしくお願いたします。以上です。

会長 それでは、議事録署名委員の指名ですが、長谷川委員を指名いたします。議事録の署名については、事務局が本日の議事録を作成後、内容をご確認いただき署名をお願いたします。

次に、本日のこの会議でございますが、相生市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、公開にしたいと思ひますが、ご異議ございませんでしょうか。

委員 異議なし。

会長 異議がないようですので、公開にしたいと思ひます。本日、傍聴希望はありますか。

事務局 傍聴希望者はありません。

会長 傍聴希望はございませんので、次に進めたいと思ひます。それでは、議事に入ります。まず、議事(1)「第2次相生市立小中学校適正配置計画」の策定についてを議題とします。事務局、説明をお願いたします。

事務局 (資料に基づき説明)

会長 それでは議事の(1)「第2次相生市立小中学校適正配置計画」の策定について、ご質問等はございませんでしょうか。

会長           今はなさそうですので、一通り終わった後に総合的に質疑やご意見の場を設けたいと思いますので、ひとまず進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員           異議なし。

会長           それでは、続きまして、(2)「適正規模・適正配置等に関する国及び相生市の動向について」を議題とします。この議題では、相生市の動向となっておりますので、(3)の「市立小中学校の状況等について」もあわせて議題とさせていただいてよろしいでしょうか。

委員           異議なし。

会長           それでは、一括して事務局より説明をお願いいたします。

事務局          (資料に基づき説明)

会長           ありがとうございました。それでは、(2)「適正規模・適正配置等に関する国及び相生市の動向について」及び(3)「市立小中学校の状況等について」ご質問等ございませんか。

会長           では、これについても一通り終わった後に意見をいただきたいと思いますが、まずは先に進めさせていただきます。続きまして、(4)「学級規模等の考え方について」を議題とします。事務局、説明をお願いします。

事務局          (資料に基づき説明)

会長           ありがとうございました。それでは、ご説明いただいた(4)「学級規模等の考え方について」ご質問等ございますでしょうか。

委員           今の説明にあった学級の人数を相生市の児童生徒の数で考えると相生市の小学校は2校というのが理想的ということでしょうか。トータルの人数が1,300人で、指針では6学年で4学級以上の24学級で1学級40人とすると約900人になるので、理想的にするために指針に合わせて学校を統廃合をしようとする2ヶ所にすれば、国の指針の通りになるということでしょうか。

事務局          単純にクラス数や人数で機械的に計算するとそうなると思いますが、国の指針の中にそういう標準的な数が示されておりますが、地域性や

地理的な状況というのがありますので、一律に当てはめてしまうのは、どうかと思っております。その点をどういう形が相生市にとっていいのかというところを皆さんにご協議いただきたいと考えております。

会長 他にはございませんでしょうか。では、こちらについても後ほどご意見をいただくこととして、続いて(5)「小規模校の特徴等について」を議題とします。事務局、説明をお願いします。

事務局 (資料に基づき説明)

会長 ありがとうございます。それでは、(5)「小規模校の特徴等について」ご質問等ございませんか。

委員 学習面のメリットの中で、生徒一人一人に目が届きやすくきめ細かな指導が行いやすいということがありましたが、実際に小規模校と大きな学校とで、生徒の学力的な差というのは明確にわかるのでしょうか。小規模の生徒は、明らかに目が届いて学力が高いが、人数が少ないので協調性がないとか、そういったものは数字で見えてきているのかどうかを知りたいと思います。

事務局 小規模校と小規模以外との学力や生活面の差を数値で表したものがいないということですが、それについては特に公表できるような資料はございません。

教育長 これは、なかなか難しいところがありまして、例えば、矢野小学校の子が、もし双葉小学校にいた場合にどういうレベルになっているか、双葉小学校の一部の子が矢野小学校にいたらどうなっているかという比較はできないところがあります。例えば、矢野小学校の、今年の一年生はこういうレベルですよという時に、その子たちが大規模校にいたら、そこまで伸びてないかもしれないといったことを考えることはできる。その伸びしろが、小規模校だから大きいか小さいかということは数値として目に見えるものとして表すのは難しい。

矢野小学校では先生が一人一人の進捗状況を見て次の単元に入っていくことができる。そういった意味で、丁寧な指導ができていくという推測はできます。それが、具体的に算数で10点あがっている等、形で示せれば一番いいんですが、それは難しい。それと双葉小学校のように人数が多いと、毎年、1年生、2年生、3年生のレベルが大体平均してるんですけど、子どもの数が少ないと、その一人一人の特徴が出ますから、小規模校では、今年の1年生はすごいなとか今年の1年生は少し低いなというそういう個人差が顕著に現れるので、なかなか

か難しい。ただ、その悪いところをカバーしやすいというところがあります。具体的な数字で表せればいいんですが難しいので、こういったことでご了承いただきたいと思います。

委員           ありがとうございます。

会長           その他にいかがでしょうか。

委員           自分が最後に担任したのは15年前の話なんですが、最後は矢野川中学校で40人のクラスを1年、2年、3年続けて持ち上がりました。男子が27名、女子が13名でバランスの悪いクラスで元気もんが数名いて、自分がクラスをまとめていくのにどこにポイントをあてるか考えた時に、やはり元気もんを引っ張っていかんと進まないなと思ってしまって、結局3年生の時3人の不登校がでてしまいました。それが15年たった今でも自分の心の中ですごく後悔している部分で、あの時に違う見方ができてたら、変わってたのかなというのがあります。

委員           前回の統廃合の時に矢野の住民の人が、非常に毛嫌いしたっていうのは何となくわかるような気がします。矢野地域は新しく家が建てれない地域で、おそらくおじいちゃんおばあちゃんと一緒に世帯に住んでいる。若狭野にとっては、状況は変わらないわけですね。でも、矢野の子がちょっと遠いところの小学校中学校に通うとなると、ここから出ていくんじゃないかというところをすごく心配されると思うんです。例えば、新居じゃなくて、同居をしていると、小学校までが15分だったところが、さらに車に乗って送って行って、また迎えにいかないといけないところに行くとなると、引っ越そうかなって思うのが、今どきの世代の普通の親の考え方なのかなと。僕自身がそういう立場になっても、考える選択肢の一つではあるように思うんです。地域の人が危機感を持たれるというのは、小学校だけではなくて、その地域を、地域の生活自体を保とうと思うため、幼稚園小学校中学校だけの問題とは、おそらく矢野の人も考えてはないんじゃないかなと何となくそんな感じがします。

教育長        実際そういう意見がたくさんございました。保護者の方は、比較的、子どもの勉強ということだけを主眼に置いた議論が多いんですが、地域の方は地域の勢いなくなってしまうのではないかとということを心配されていました。実際、神戸新聞の記事なんですが、夢前町の小学校で統合で廃校になって、今は店に変わってるところがあります。その当時の自治会長さんがおっしゃってますけれども、実際に姫路の教育委員会も新聞の中で認めてましたけど、学校がなくなってから、過

疎化が進んだというのが、数字として表れているということがありました。当時の自治会長が、「何とか維持できるのであれば、地域に学校は維持すべきであった、今になって後悔している。」と言っていた。相生市の矢野や若狭野、相生地区とは環境が違いますけれども、保護者とそれから地域住民の皆さんの合意のもとに進めるという大前提はしっかり守っていかなければという計画になるだろうと考えております。

会長           その他にいかがでしょうか。

委員           僕のところも小規模校に子どもを通わせてきたんですけど、僕自身は相生出身じゃなくて、クラス替えを何度も経験して相生市に移ってきました。子どもは、1クラスしかない学校で、クラス替えを経験していないので、そこはやっぱり自分の中でも引っかかるところが大きいところでした。そこで、先ほど学力の話も出たんですが、やはり小規模校になったら、自分の学年ではこの辺にいるけど、他の学校と比べたらどこにいるかがわからないというのがあります。そうすると、高校入試の時とかであれば、学校内での順番は大体わかりますが、受験となると西播磨になるので、そこではどこら辺に行けるのかっていうのを学校の先生とかも相談しながらしましたが、やっぱり難しいというのが実感でした。もう少しクラスが多くてクラス替えがあって、人とのコミュニケーションもできるというのが希望だなっていう思いがあります。

          だけど、今さっきの話を聞けば、過疎化が進むという面もあるのかなと、ただ、学校を大きくすれば良いっていう話だけではないんだなっていう、ちょっとまた複雑な気持ちになりました。でも、新聞とかでも2月や3月になったら、いろんな地域で最後の卒業式ですとかを見ると、ちょっと寂しい気分になっていくので、できれば、もっともっと相生市の人口が増えるようなことを希望するんですけど、それは難しいかなっていうことも思います。質問なんですけど、合併合併となっているんですけど、合併ってなるから地域と地域の問題になるので、新しく一つの学校を建てるという策は、あるのかないのかで言えばどうなのをお聞きしたい。

事務局       先ほど、話があったように現実的に2つにすることだと思いますが、実際の話になりますと、そういったことになると、教員の数にも影響してきますし、財政的な負担が非常に大きくなりますので、やはり、既存の施設を活用しながらっていうのが現実的な形になるかなというふうに思います。

委員           相生市より財政が厳しいのではないかとと思われる上郡町が思い切っ

で統合されてましたけど、何か良い国の補助があるわけじゃないんですか。

事務局 上郡町に関しては、学校の数が多くなって、それから生徒数の規模も大きくなかったんで、比較的やりやすかったのかなと思います。

会長 当然、サイズ感があると思いますけど、学校を新設するのにどれぐらいの費用が必要になりますか。

事務局 どのぐらいの規模かというのがありますが、例えば中学校で1学年1クラスずつの3クラス規模で新築したとして5億というのを試算したことがあります。先ほど言われたような何百人という学校になると、なぎさホールぐらいの規模になりますので、これぐらいになると30億以上というような金額になってきます。また、相生市には、なかなかそういった施設を建てる適地も見つけにくいところがありますので、やはり既存の施設を利活用すること以外に選択肢が少ないのかなと思います。

委員 質問なんですけど、複式学級をしないといけないクラスが今あると思うんですけど、そこに市がお金を出して担任を配置しているということで、それはすごくありがたいことなんですけど、他の学校からすると、なんで複式学級にしないのかと思うのではないかと思います。他から複式学級にすればいいのではという声は上がっているのかいないのか、他の学校から見たら、そういう意見もあるのかなというのが気になったんですけどいかがですか。

事務局 特段他の学校からそういう声は聞いてはないです。統合が凍結になった時に、本来は複式が発生しますが、凍結という状況によって地域による子どもたちの格差を生まないためにということで、現在、複式を解消する措置をとっております。

委員 資料の4で聞きたいことがあります。相生小学校は現状32名ということで、非常に少ない状態になっており、今後の推移を見ても令和9年度で21名ということで、現在、相生幼稚園の方も休園になっていて寂しい状態ですが、今後この相生小学校をどのような形で残していくのか、また統廃合をするのかというような、今現在、どのような状態なのかお聞きしたい。

事務局 相生小学校に関しましては、平成23年度に地元の方々のご意向を踏まえて、今は現状を維持するという形になっています。新たな計画

を作っていた中で、どういう形がいいのかということも議論があるかなと思います。先ほど委員から統合に関してまちづくり的な話が出てましたが、矢野小学校の当時の試算では、子どもの数が減って30人ぐらいになるとなっていました。今現実に小学校が存続することで、いろんな方が戻ってこられて、子どもの数がその当時想定したよりも増えてきているという実情もありますので、おそらくですが相生地区の方々も、もし仮に統合になったときに、今以上に、子どもが減ったりとか地域の疲弊を考えられて、判断されたのかなと思います。

教育長 資料の6ページに棒グラフがありますが、平成23年度に相生市が子育て応援都市宣言をして、給食の無料化や幼稚園の無料化等の子育て支援、教育支援を開始しています。その後の推移を見ていただくと、それまでの極端な減り方がおさまり多少増えてる時もありますので、やはり給食無料化等の支援策が功を奏したと感じている。実際の国勢調査においても、兵庫県下で15歳以下の年少人口の数が増えているのは、相生市だけという結果になっております。こういった施策を実施するというのは、大きなことではないかと思っています。

会長 その他、いかがでしょうか。全般に亘ってご質問等お願いします。

委員 文科省とか、国の示している基準は、学級数について言っていることが多いと今日の資料説明を聞いていて思いました。それで、先ほど資料の児童生徒の推移のところでは、児童数生徒数はありますが、クラス数が表の中には出てきてないので、複式学級のクラスもあらわれてくる学校もあると思うんですけど、学級数がどうなっていくのかというのをこれからの議論のために、示していただけるとありがたいと思っています。

会長 次回以降に提示をお願いします。

事務局 わかりました。

委員 そのときに、その本来の小学校区や中学校区でないところに通っている子どもの数を聞くことは可能ですか。例えば野球がしたいから野球部のあるところに通いたいとか、逆に少し人と接するのがあまり得意じゃないので、生徒数が少ない学校に通わせたいとか、不登校傾向なので環境を変えて、違う学校に通うとプラスになったというような人数がこの表の数字に紛れていると思いますので、わかれば教えていただきたい。



会長 概算でいいですが、今の段階で多いのか少ないのかという答えがありますか。

事務局 先ほど委員からもありましたように、色々な配慮が必要な場合であったり或いは住居を新しく建てたが、その年度中は前の住所の学校に行かせるなどといった形で、本来の校区以外の学校に通っている子はいますが、ごく少数です。また、次回以降にお示しできればと思います。

会長 よろしくお願ひします。

委員 学級数の推移を提示していただきたいということですが、それに合わせて学級数によって職員配置数も決まってるはずなので、それがわかると、統合すると先生の数がどうなるのかということも参考になると思いますので、それも合わせてお願ひします。

会長 加配の数も必要になりますか。

委員 この学級数であれば、県費でこれだけ配置されるはずだというのが定数で決まっているはずなので、その数をお願ひしたい。

会長 色々とデータ提供の要望がでておりますが、その他のデータ等でご要望があればご意見をお願ひします。

委員 適正配置の統廃合となると矢野と若狭野のように学校名が問題となったみたいなので、たつの市のように東西南北をつければ問題にならないのではないかと思います。統廃合関係なく統廃合するだろうということを目測して、思い切って相生南中学校や小学校みたいな感じで、統合を投げかける前に名前を変えてしまうというのは難しいのでしょうか。前もって名前を変えていけば、校名でもめるということはないのかなと思います。

教育長 相生市では、中央小学校が地域性をだしていない学校名です。これは、全くの新設校だからできたと思います。双葉小学校は、現双葉中学校の場所から那波野に移転したんですが、双葉小学校のまま引き継いでいます。おそらくこだわりがあったんだと思います。双葉小学校の校歌には、今の場所にそぐわないところがありますが、伝統として引き継いでいます。

他の事例では、姫路に大白書中学校がありますが、太市と白鳥と書写の3つが集まって、頭文字をとって大白書という校名にしています。

また、大的中学校も大塩と的形が統合して校名が大的となっています。やはり地域のこだわりというのが大きいと感じています。

委員 名前だけでなくて以前の矢野では、才元小学校と校舎を建てる場所で数年間もめたという経験があります。それだけ地域の人にとっては、校名や建つ場所への思いが強いというのを感じました。

委員 双葉小学校の移転の時は、何も問題がなかったのか。

委員 移転するとなったときに、今の温水プールのところに建てかえようとする話があったが、それはよろしくないとなって、那波野の今の場所に誘致されたという話を聞いたことがあります。

委員 都市計画道路の関連もあったかと思う。計画では、学校の南側にある道路が東に延びるという話となっていたので、あの場所に移転となったかもしれないが、数年前にその計画も廃止になったという経過がある。

会長 どうでしょうか。他にご意見やご質問、ご要望ありますでしょうか。

委員 自分の時代では、中学校で1クラス50人の8クラスあったので、今とは全然規模が違う。

教育長 相生小学校が今年150周年、那波小学校が来年150周年、若狭野小学校も2年後150周年ということで、それぞれ歴史がある学校となっている。

委員 建物自体も今後、年数経過すると古くなるので心配ですね。

事務局 修繕関係が多くなることが懸念されます。

会長 その他にはいかがでしょうか。

委員 地域性を十分に考えるという話があったと思うんですが、小学校の統廃合とした場合、小学校に直接関わる場所は、自分の子どもでいうと6年だけです。でも、その地域に住む時間は、平均寿命までいったとして、あと40年ぐらいそこに住むわけなので、自分の子どもの学校に行く6年間だけではなくて、そのあと住める地域で、なおかつその子どもが帰ってきたいなと思うような地域を保てるかどうかというのが一番、統廃合よりも気になるところだなという感じがあります。

教育長 以前、保護者と懇談した際に、学校がない状態での地域活性化とかそういったことについてどう考えてですかと聞くと、そこまで考えてませんでしたということでした。もう一度、考え直させてくださいということがありました。結果として、子どもの数が減っている地域があるので、その人口が減っている基本の部分を改善していくというのは、正直、学校教育の分野だけでは、解決がつかない問題であります。平成23年度に子育て支援施策を実施したときに子どもの数が増えたように、何か実施して変わっていくというような根本的なことをしていく必要を感じる。

若狭野でも若狭野地域活性化委員会を作られて、いろいろと活動をやっておられるので、そういったものをぜひお願いしたいと思います。

会長 他にどうでしょうか。

委員 私も矢野の住民です。下げ止まりみたいになってる感じはあるんですが、V字回復というような子どもの数が増えることは、余程の何か新しい動きがないと、矢野の子どもたちが増えたり、相生の子どもたちが増えたりということにはならないのかなと思います。もし、先が見える話があると、もうちょっと様子を見ようという話にもなるかと思いますが、何か下げ止まりがいつまで続くのか分からず、いずれ減ってしまうのかなというのがこの数値を見ていると思ってしまいます。仮に家が建てられるようになったら、テクノもあるし、便利なところだというふうに見直しもされるかもしれないですけど、そういうことが、現実、見込みがまだない中で難しいなと感じています。

教育長 仕事面では、通勤をしなければいけないという仕事から、今回のコロナの関係でどこでも仕事ができるのではないかという風に変ってきているので、この社会の変化がいい方向につながらないかなと期待している。

委員 統計上、下げ止まっているところよりも、若狭野小学校や青葉台小学校の10年ぐらいで極端に減っているところは、同じような課題がいずれ出てくると思うので、どこかの下げ止まりに照準を合わせるかっというところがあると思います。実際に下げ止まっている相生小学校と矢野小学校に合わせるのではなくて、いずれこの人数の減り具合からいうと、近い将来に若狭野小学校や青葉台小学校も下げ止まりが見えると思うので、ゴールを10年先にして統廃合をして労力を使うのか、さらに10年待つてみると1回で終わるっていう答えが見える可能性もあるかなって感じはあります。

委員 相生は新幹線も停まるし、環境的には良いと思っている。矢野地区の企業庁がもっている土地の活用を考えてほしい。

教育長 特別指定区域を活用しようとするので、それを少し緩和してもらいたいと考えます。農振地域の農地を農転して建てるというのは無理ですが、特別指定区域は活用することは可能ですが、その活用するための規制は厳しいものになっています。

委員 この資料はすべてごもった話だと思います。最終的には、地域の実情及び特別な事情がある限りというところが、審議していく中のポイントになっていくと思うんですけど、児童生徒数の推移の中で、増加してる小学校もあれば、減少している小学校もあるので、具体的に減少であれば、その減少が自然減少なのか、それとも流出で減少した影響があるのか、那波小学校のように、転入によって増加しているのかといったことが分かれば、何か加味できないかと感じました。

事務局 子どもが増えている地域と減っている地域というのは転入転出が主な要因だと思いますが、矢野・相生が下げ止まっているということなので、どういった要因があるのかというところは分かる範囲で調査してみます。

委員 新築の家が建たないので、他地区からの転入が見込めないなかで、下げ止まっているというのはUターンでもともと住んでたところに、戻ってきているのかなと思っているので、他の小学校区はどうなのか知りたいということで、お話をさせていただきました。

事務局 実例として実家があるから地域に戻るといえるのはありますので、他地区でそういったことがあるのかというところを調べてみます。

委員 平成21年以降若狭野小学校の激減が、どういった要因があるのかなと思っています。

委員 若狭野小学校では、国道2号拡幅の影響を受けたりしてないですか。大きなトラックがすごいスピードで通ることによって、住みやすい環境で田舎暮らしを満喫できるような環境ではなくなって、田舎に住むメリットとして中途半端な感じというイメージがあって帰ってこないということはないんですかね。

事務局 県営住宅、市営住宅の高齢化というのが影響しているかもしれませ

ん。

委員 双葉地区が増加しているのは、相生地区などの市内からの転居が多いように感じる。

委員 資料の6番のところの一番小規模校における市の取り組みというところで5点ほどあるんですけども、今後こういう小規模校における取り組みでやっていこうという新しいことがあればお願いします。

事務局 基本的には、今行っているものを継続して行っていくということをベースにさせていただきまして、先ほどの説明の中にもありましたが新たにICTの活用というようなツール、入ってきたものをさらに使っていくという形で、今後、さらに使えるものがあれば取り入れながら、子どもにとって最良というものを模索していくことが続いて行くと思います。

委員 小規模校だけじゃなくて、他の双葉とか中央小学校等ともやっていくということでしょうか。

事務局 市内全体でそういった取り組みは進めていきたいなと思います。

委員 わかりました。

教育長 今回の計画の中に書き込んでいけるようであれば、ぜひ書き込んでいきたいと思います。そういう事例については、安藤先生が知っておられると思いますので、お教え願いたい。

委員 あまりICTを活用しすぎて、家で授業が受けられるようになって、毎日子どもが家にいるようになると、それはそれで困るので、ある程度は学校に行ってほしい。

委員 子どもがクロムブックを持って帰ってきて、楽しそうにしている姿をみるとすごい時代がきたなとは感じます。

委員 ICTを使うのであれば、小規模校と大規模校をつないで授業をするという方法も考えられますね。

事務局 そういったことをすると子どもたちが肌で感じていいと思います。

委員 那波中学校に行く相小、那波小、青小がつながると交流ができてい

いですね。

会長           そろそろ2時間となりますので、最後これだけはというご意見ありますでしょうか。ないようであればその他に進みます。よろしいでしょうか。

委員           はい。

会長           それでは、本日の議事は全て終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。続きまして、その他に進みます。事務局からお願いいたします。

事務局          第2回の審議会につきましては、保護者のアンケートの集計結果及び本日ご意見いただきました内容、或いは、求められておりますデータ等を含めて、相生市としての適正な規模等を示していければと思っております。次回の開催は、7月25日月曜日19時から開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

会長           ありがとうございます。今の事務局からのご説明にご質問等ありませんでしょうか。

                  それでは、以上をもちまして第1回相生市学校教育審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。